

附属高松小学校専門クラス 講座内容紹介

小1	算数 75分×4日間	<ul style="list-style-type: none"> 「大きいかず」の学習内容を進めます。これから出てくるけた数の多い数の計算の基礎を身に付けられるようにします。 「たし算・ひき算」の復習を行い、正確な計算力を養い、文章題の演習も行います。
	国語 60分×4日間	<ul style="list-style-type: none"> 教科書から離れ、初見の文章の読み取りを通して、問題の内容を読み取る力・問題に即した解答を導き出す力・解答を書く(表現する)力など、国語の基礎力の徹底を図っていきます。
小2	算数 90分×4日間	<ul style="list-style-type: none"> 「10000までの数」(先取り内容)を学習します。大きな数の表し方や大小比較、数直線の読み取りを練習し、次学年以降の学習につながる基礎を身につけます。 これまでの学習内容をひとつずついねいに復習します。
	国語 60分×4日間	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の内容とは異なる文章の読み取りと語句の練習を行います。教科書から離れた文章を読み、その文章に対する問題を演習することで、文章内容を読み取る力を身につけます。
小3	算数 90分×4日間	<ul style="list-style-type: none"> 文章から問題の中の数字どうしの関係をつかみ、それをもとに自分で線分図や絵図をかき、答えを求めるといった文章読解の道筋を身につけることをテーマとします。 上記のテーマのもと、教科書にある「式と計算」の単元を学習します。 2学期末テストに向け、これまでの復習も行い、解き方の確認をします。
	国語 70分×4日間	<ul style="list-style-type: none"> 初見の文章に触れることにより、学校の授業とは違った側面から読解力を養います。また、「様子をくわしくすることば(修飾語)」などの文法に触れ、文章の表現力を養います。
	理科 50分×4日間	<ul style="list-style-type: none"> 「こん虫を調べよう」「太陽とかげを調べよう」「太陽の光を調べよう」を中心にこれまでの内容を復習します。また、「明かりをつけよう」の予習も行います。
	社会 50分×4日間	<ul style="list-style-type: none"> 「高松市のように」「店ではたらく人」「農家の仕事」を中心にこれまでの内容を復習します。また、「火事からくらしをまもる」の予習も行います。
小4	算数 90分×4日間	<ul style="list-style-type: none"> 「変わり方」(先取り内容)を学習します。テーマは、問題の中にあるきまりをとらえ、それを正しく表現する方法を身につけることです。ここで身につけたことは、中学受験や高校受験に必ず出題される規則性の問題を解く上での土台となります。 2学期末テストに向け、これまでの復習も行い、解き方の確認をします。
	国語 70分×4日間	<ul style="list-style-type: none"> 初見の文章に触れることにより、学校の授業とは違った側面から読解力を養います。また、主語、述語、修飾語、文と文をつなぐ言葉といった文法内容の確認をします。
	理科 50分×4日間	<ul style="list-style-type: none"> 「物の体積と温度」「水のすがたと温度」を中心に、これまでの内容を復習します。身近なものごとの現象や性質を問題の中でどうとらえるべきか、ひとつずつ確認します。
	社会 50分×4日間	<ul style="list-style-type: none"> 前期期末テスト以降に学習した内容を復習します。また、県庁所在地に加えて5年生で教科書に出てくる地名と場所を確認します。
小5	割合特訓 75分×8日間	<ul style="list-style-type: none"> 実生活の中でも必要な「100円の口割は70円となる。」といった『割合』の基本内容から応用までの演習を行います。 小6になってからの学力テストにも必ず出題される『割合』は、つまづきがちな数多くの練習が必要となります。講習では自信をもってテストに臨めるよう、8日間かけて集中的に演習を行います。
	算数 90分×4日間	<ul style="list-style-type: none"> 今までに習った「基本内容」の総復習を行います。 「面積」「平均」に関わる問題を数多くこなしてもらいます。 ※この講座では『割合』の内容を扱いません。
	国語 90分×4日間	<ul style="list-style-type: none"> 初見問題を通じて読解力を深めるなどの演習を行います。 2月の期末テストに必要な「敬語」、「熟語の構成」の復習も行います。
	理科 60分×4日間	<ul style="list-style-type: none"> 今までに学習した「物のとけ方」「人のたん生」を中心とする復習を行います。 「物のとけ方」では、表の数値を読み取り、水温や水量の違いに注意して、あと何gとかすことができるのか等について、しっかりと演習を行います。
	社会 60分×4日間	<ul style="list-style-type: none"> 今までに習った「工業生産と貿易」、「水産業」、「食料生産」を中心とした復習を行い、工業地帯・地域や、工業の種類などを覚えてもらいます。
小6	四科目総合 150分×10日間	<ul style="list-style-type: none"> 算国理社4科目ともにまんべんなく点数をとれるよう、最後の仕上げを行います。特に算数の応用力、国語の読解力のさらなる底上げを目指します。過去の入試傾向に基づいた精選問題を用いた実戦練習を行います。
	理社暗記特訓 360分×2日間	<ul style="list-style-type: none"> 夏期講習の暗記特訓に夏休み以降の学習内容を加え、入試に必要なすべての暗記事項を見直します。 入試直前に効率の良い暗記事項の確認、演習を行うことにより、暗記内容では確実に得点に結びつけられるようにしてもらいます。
	算数特訓 180分×2日間	<ul style="list-style-type: none"> 文章題を分野ごとに整理し、演習を行います。これにより、問題にあたる際に問題の種類を見抜き、答えまでの道筋をすぐに見つけられる力を高め、入試に臨んでもらうことがねらいです。

小1

これまでの学習内容を確実に復習し、かつ今後重要になる内容の基礎をかためるための講習となります。年末年始の勉強の時間を十分取りにくい時期だからこそ、効率よく勉強して、課題を克服し、これからの学習に備える必要があります。4日間という短い日程ですが、是非お子さんに受講の機会を設けてあげてください。

小2

1学期末テスト同様、2学期末テストでも満足のいく結果を出すためには、十分な学習時間を取り、苦手を克服しなければなりません。年末年始の時期は、その絶好の機会です。期末テストが近づいてからあわてることのないよう、この冬期講習を利用してください。

小3

4年生になると、その学習内容が直接、入試にかかわってきます。3年生のうちに、今後の学習の基礎となる、これまでに学習した知識や考え方をきちんと身につけておきましょう。

小4

テストが近づいてからあわてて復習するというのでは、範囲の広いテストには対応できません。ぜひこの講習に参加して、内容を自分のものにしてください。そして、テストに向かって1月からよいスタートをきれるように頑張ってください。

小5

期末テストに向けての勉強がそのまま6年生の学習の土台作りとなります。6年生で力を伸ばすためには、今の取り組みが大切です。ぜひこの講習に参加して、期末テストでその成果が十分発揮できるようにしましょう。

小6

冬休みには入試に向けて総仕上げを行わなければなりません。ここまで積み重ねてきた自分の努力が入試結果に結びつくかどうかはこの冬休みの過ごし方にかかっています。この講習を最大限にいかし、できる限り自分の力を伸ばして入試につなげて下さい。

1年生～5年生は1月8日(土)に模擬テストがあります。
2年生は2月15日(火)、3年生～6年生は2月15日(火)、16日(水)に期末テストがあります。

※6年生は、1月の通常授業について、次の点にご注意下さい。
1月17日(月)は、附中入試合格発表のため通常授業はお休みとします。
なお、1月29日(土)に新中学1年生対象の説明会を行いますので、ぜひご参加下さい。